

# 千葉市感染症発生動向調査情報

2017年 第15週 (4/10-4/16) の発生は？

## 1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		15週	14週	13週	12週
小児科		18	18	18	18
眼科		5	5	5	5
インフルエンザ*		28	28	27	28
基幹定点		1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは  
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市				千葉県	
		注意報	4/10-4/16	4/3-4/9	3/27-4/2	3/20-3/26	4/3-4/9
			15週	14週	13週	12週	14週
小児科	RSウイルス感染症		3	3	2	0	12
	咽頭結膜熱		1	2	0	3	23
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	○	56	42	35	45	365
	感染性胃腸炎		144	153	126	101	917
	水痘		2	4	6	6	41
	手足口病		1	0	0	1	0
	伝染性紅斑		0	0	1	1	4
	突発性発しん		13	6	8	14	58
	百日咳		0	0	0	0	2
	ヘルパンギーナ		0	0	0	0	6
	流行性耳下腺炎		2	1	1	1	37
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		142	130	172	150	1,209
眼科	急性出血性結膜炎		1	0	0	0	1
	流行性角結膜炎		2	3	1	0	31
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	1
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	1
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	1	12

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

## 2 全数報告対象疾患(2件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	40歳代	IGRA検査	結核	女性	40歳代	IGRA検査
結核	男性	50歳代	病原体等の検出	レジオネラ症	男性	60歳代	病原体抗原の検出等
結核	男性	70歳代	病原体の検出	急性脳炎	女性	10歳未満	高熱及び中枢神経症状
結核	男性	90歳代	病原体の検出	侵襲性肺炎球菌感染症	男性	60歳代	病原体の検出等
結核	女性	20歳代	IGRA検査	破傷風	男性	70歳代	臨床診断

・第15週は、結核6件(71)、レジオネラ症1件(3)、急性脳炎1件(6)、侵襲性肺炎球菌感染症1件(13)、破傷風1件(1)の報告があった。

※ ()内は2017年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

## 定点当たり報告数 第15週のコメント

<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎> 前週より増加し3.11となった。過去10年の同時期と比べると多い。

■ トピック ■

＜A群溶血性レンサ球菌咽頭炎＞

全国レベルの2017年第14週は過去10年の同時期と比べると多めとなっています。都道府県別では、鳥取県、山形県、大分県で多く報告されています。千葉県は全国レベルより多くなっています。

千葉市の2017年第15週は前週より増加し3.11となり過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、緑区(5.5/定点)で最も多く、同区の7歳で最も多く発生報告がありました。

今シーズンである2016年第36週から2017年第15週までの累積報告数(n=1135)によると、性別では男性が53.0%(601名)、女性が47.0%(534名)で、年齢階級別では10歳代前半(13.1%:149名)が最も多く、一年代当たりでは4歳(12.3%:139名)、5歳(11.7%:133名)、6歳(11.6%:132名)の順に多くなっています。

